

広報

なんたん



Vol.47

【特集】

南丹市環境基本計画を策定

2011年
6・7月号

広報 なんたん もくじ

- ② **【特集】南丹市環境基本計画を策定**
- ⑧ 平成22年度予算執行状況（下半期）
- ⑩ 行政トピックス
 - ・南丹市教育の在り方懇話会
 - ・地震を想定した避難訓練 ほか
- ⑫ インフォメーション
 - ・テレビ大阪地デジ放送スタート!
 - ・第26回国民文化祭・京都2011 ほか
- ⑰ みんなで描こう協働のキャンパス
- ⑱ いきいき南丹
- ⑲ 人権の窓／環・境・市・民
- ⑳ 図書館へようこそ！／暮らしにホッと
- ㉑ ぶらりなんたん
- ㉒ みんなのひろば
 - ・横町まつり・歌聴風月2011酒蔵ライブ
 - ・日吉福祉大学・紅が丘大学開講式・記念講演 ほか
- ㉔ なんたんミュージアム／わが家のアイドル

今月の表紙

6月6日、園部第二小学校の地震を想定した避難訓練で避難する1年生。「押さない」「しゃべらない」「走らない」を守り、すばやく避難します。

南丹市環境基本計画を策定

私たちは、利便性と引き換えに環境に対し負担を与え続けてきました。

豊かな自然に恵まれた南丹市も例外ではありません。産業の発展などに伴って環境面で多種多様な問題を抱えています。

南丹市では、環境面で目指す基本的な方向性を示し、市民の皆さん、事業者、市それぞれが取り組むべきことや協力体制を明らかにするため、南丹市環境基本計画を策定しました。皆さんで協力して、より良いまちづくりを進めましょう。



計画の基本的事項

■南丹市環境基本計画とは

南丹市の恵まれた環境を守ると同時に、健全な環境に回復させて、次世代に引き継ぐためには、市民の皆さん、来訪者、事業者、市それぞれの取り組みと協力が必要となります。

本計画では、それぞれの取り組み内容や協力体制を明らかにし、南丹市が、環境面で目指す基本的な方向性を定めます。

また、市総合振興計画を環境面から実現する役割も担っていると同時に、地球温暖化対策の推進に関する法律において、地方公共団体が策定する実行計画としても位置づけられています。市の政策・事業を環境面から計画・実施・評価・見直すことができます。

■計画策定の経過

平成21年11月9日に、本計画について南丹市環境審議会へ諮問しました。

環境審議会では、平成21年度から平成22年度の間、全7回の審議会、10回のワーキンググループ会議、現地調査などを開催し、平成

23年3月31日に市長へ答申が行われました。



▲環境審議会会長の中川重年氏から計画案を受け取る佐々木市長

■期間

本計画の期間は、平成23年度から平成32年度までの10年間です。なお、5年間ずつ前期と後期に分け、南丹市を取り巻く環境や社会情勢の変化に応じて、柔軟に計画内容を見直します。

■対象範囲

本計画は市全域を対象として、「人づくり」「生活環境」「地域環境資源」「資源循環」の4つの視点から、地域の環境をとらえます。また、本市は由良川・桂川（淀川水系）の最上流地域に位置していることから、本計画では、周辺地域、特に流域への意識、さ

らに地球環境への意識といった、広域的な視点も持ちます。

環境ミニ単語帳

▼エコドライブ

燃費向上による省エネと排気ガスの削減に役立つ運転のこと。

▼カーシェア／カーセーフティー

自動車から排出される二酸化炭素を削減し、地球温暖化防止に貢献することを目的として自動車の使用を控え、公共交通機関や自転車などを利用する取り組み。

▼カーボン・オフセット

二酸化炭素などの温室効果ガスについて、できるだけ排出量が減るよう削減努力を行い、それでも排出される量については、それに見合った削減活動に投資することなどで、温室効果ガスを埋め合わせ（オフセット）するという考え方。

▼環境ホルモン

正式名称を「外因性内分泌攪乱物質」という。生物の内分泌系をかく乱し、人間の健康や生態系に悪影響を与える化学物質のこと。

環境の課題

人づくり面での課題

- 現在、市内で取り組んでいる環境教育について、情報を把握・共有すること。
- 情報を共有する場となるネットワークを形成すること。
- イベントなどを通して環境への意識を高めること。
- 事業者が地域環境保全に取り組む機会、場所を設けること。



▲子どもたちによる水辺の観察会(八木町西田)

生活環境面での課題

- ごみのポイ捨てなどの防止に向けた意識向上と監視の強化。
- 野外焼却、悪臭を防止すること。
- 生活排水や農業排水による河川水質への負担を軽減すること。

- 環境保全協定を締結し、事業活動に伴う環境の悪化を未然に防止すること。



▲地域・学校・企業が協力して行う美化活動(JR園部駅西口の清掃)

地域環境資源面での課題

- 豊かな自然、貴重な動植物の保全。
- 人工林の間伐、シカやイノシシなどによる食害などの対策を推進すること。



▲府登録文化財の牧山の松明行事(日吉町中世木の普門院)

- 進し、森林の適切な更新を図ること。
- 自然と触れ合う機会を設けること。

- 日本の原風景的な自然景観や歴史的な町並みを守ること。
- 文化財や文化遺産、地域の伝統を次の世代に伝えること。

資源循環

- 事業系のごみ、家庭系のごみの双方を削減すること。



▲美山川のクリーンリバー作戦

- 分別回収、資源回収などを推進し、3Rを進めること。
- 未利用のバイオマスを効果的に活用すること。
- 化石エネルギーの使用を控え、再生可能エネルギーの普及を推進すること。
- 水環境を保全すること。

▼グリーンツーリズム

農山漁村地域などで自然、文化、人々との交流を楽しむ、滞在型の余暇活動の総称。

▼再生可能エネルギー

枯渇の危険性がある石油・石炭などの化石燃料などと違い、自然現象によって半永久的に得られ、継続して利用できるエネルギー。

▼森林ボランティア

森林を育てるため、樹木の植栽や下刈り、枝打ち、間伐などの森林整備を行うボランティア活動。

▼生物多様性

あらゆる生物種の多さと、それらによって成り立っている生態系の豊かさやバランスが保たれている状態のこと。

▼地産地消

「地域生産、地域消費」の略語。

▼バイオマス／バイオマスタウン

再生可能な生物由来の有機性エネルギーや資源(化石燃料は除く)のこと。バイオマスタウンとは、農林水産省が推進する地域指定地で、「広く地域の関係者の連携の下、バイオマスの発生から利用までの総合的利活用システムが構築され、安定的かつ適正なバイオマス利活用が行われている、あるいは今後行われることが見込まれる地域」のこと。

基本理念

い 意欲のある人 **き** きずなを結び **い** 資源を生かす **き** 自然と共生

私たちは、環境をよくするために自ら考え、行動する、意欲のある人を目指します。

私たちは、環境を慈しむ心をとおして「人と人」を結び、きずなの強いまちを目指します。

私たちは、限りある資源を生かし、持続的に発展するまちを目指します。

私たちは、豊かな自然を守り、将来に残すため、人と自然が共に生きるまちを目指します。

環境像

自然と人が結びあう 'いきいき' 南丹市

基本目標

〈人づくり〉	〈生活環境〉	〈地域環境資源〉	〈資源循環〉
環境を慈しむ心を育み、自ら考え、行動し、協力し合います。	思いやりを大切に、みんなが快適に暮らせるまちを創ります。	自然・歴史・文化、南丹のかがやきを守り、伝えます。	水・もの・エネルギーを有効活用し、環境への負荷が少ないまちを創ります。

基本計画

<ul style="list-style-type: none"> ● 環境教育・環境学習・体験活動の推進 ● 環境に関する情報を収集、提供し、意識向上に取り組む ● 環境活動団体やリーダーの育成・支援 ● 環境活動のための協働体制づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ● 公害のない、健康に暮らせる環境を維持 ● ごみのポイ捨て・不法投棄をなくす ● 心が安らぐ快適空間を創出 	<ul style="list-style-type: none"> ● 山林・川・里の自然環境を保全 ● 生物多様性を保全 ● 伝統ある歴史・文化を伝承 ● 美しい景観を保全 ● 地域資源を生かした産業・観光を振興 	<ul style="list-style-type: none"> ● 市域外にも配慮した水環境保全を推進 ● 3Rを推進 ● 資源やエネルギーの有効活用を推進 ● 地産地消を推進
--	--	---	---

5つの重点プロジェクト

▼**ビオトープ**
ドイツ語のBio(生物)とTopo(空間、場所)を組み合わせた造語。生物が互いにつながりを持ちながら生息している空間を示す言葉だが、特に開発事業などによって環境の損なわれた土地や都市内の空き地、校庭などに造成された生物の生息・生育環境空間を指していう場合もある。

▼**フードマイレージ**
食糧の総重量と輸送距離を乗じて数値化したもの。

▼**フロン／フロンガス**
フッ素と炭素などからなる化合物。オゾン層を破壊する原因物質の一つ。

▼**木質ペレット／ペレットストーブ**
従来は廃棄されていたおがくず、端材、樹皮などを15mm程度の小さな円筒状に成形した固形燃料で、バイオマスエネルギーの一つ。木質ペレットを燃料に使用したストーブをペレットストーブという。

▼**モテルフォレスト**
地域で行う、森林を核とした持続的な地域づくりの実践活動のこと。森林所有者が放置森林を解消するため、活動を希望する企業などに活動場所を提供し、間伐などで森林整備を行うもの。参加者にとっては、環境教育などの相乗効果がある。

5つの重点プロジェクト

① 環境の輪づくりプロジェクト

市・市民・事業者間、地域間、環境活動団体や環境リーダー間のネットワークづくりに取り組みます。また、環境データベースを整備し、情報の収集・提供がしやすい環境をつくります。

●市民・事業者・市の協働による計画の推進

●学校同士、地域同士が連携した取り組みの推進 など

② 地域との連携による環境学習推進プロジェクト

子どもから大人まで、すべての市民を対象とした環境教育を推進します。また、学校と地域、事業者、市との連携を強化するとともに、地域ぐるみで環境教育を推進します。

●地域と学校が連携した環境教育の推進

●地域と市・事業者が連携した環境学習の推進 など

③ 豊かな森再生プロジェクト

林業の活性化に取り組み、本市の豊かな森林の保全に努めます。

市民や事業者が協働し、森林整備活動に積極的に参加する活動を推進します。

●地元産木材・林産物の利活用推進

●市民・事業者の協働の森づくり など



▶間伐により元気な木が育ちます
(鳥津製作所のモデルフォレスト活動)

④ 南丹の「ほんまもん」活用プロジェクト

地元食材や特産品をはじめ、歴史・文化、貴重な動植物などを保全・活用したまちづくりに取り組みます。

事業者、市などの関係機関と地域住民が連携し、里地里山の保全・活用に努めます。

●地域環境資源について学ぶ機会の創出

●地域環境資源の保全・有効活用
●魅力ある里地里山の保全 など

⑤ 資源・エネルギーの地産地消プロジェクト

バイオマスの有効利用に取り組み、ごみの減量化につなげるとともに、資源の循環するまちを目指します。地域の再生可能エネルギーについて、利活用に取り組みます。

●地域内バイオマスの利活用推進
●循環型農業の推進 など



▶メタン発酵処理で資源を循環させます
(八木バイオエコロジーセンター)

▼ライトダウンキャンペーン

温暖化防止の取り組みの一環として、ライトアップ施設や各家庭の電気を一斉に消す運動。

▼BDF

バイオディーゼル燃料。バイオマスエネルギーの一つであり、代表的なバイオマス燃料。

温室効果ガスの削減

本計画では、温暖化防止が南丹市の良好な環境の保全にもつながることから、計画を推進する上で、次の基本的な考えにより、温室効果ガスの削減にも取り組みます。

■基本的な考え

- ・二酸化炭素吸収源の森林資源を生かした取り組みを推進する。
- ・市民、事業者、市それぞれの立場で取り組みを推進する。
- ・協働により、取り組みをさらに推進する。

■削減目標

南丹市は、平成32年度の温室効果ガス排出量を平成2年度比で26%削減することを目標とします。
(国・京都府の目標値は25%)

計画の推進

■計画の推進体制

市民の皆さん、事業者、市の協働の下、取り組みを進めていく必要があります。このため、下図のような推進体制を整備し、各主体が互いに連携し、計画の効果的な推進を図ります。

①(仮)南丹市環境パートナーシップ会議

市民の皆さん、事業者、市などの参画組織であり、本計画の具体的な取り組みについて企画し、中心となって行動します。市から計画内容の実施状況に関する年次報告を受け、計画の進捗状況を点検し、見直しが必要な事項などについて市へ提言する機関です。

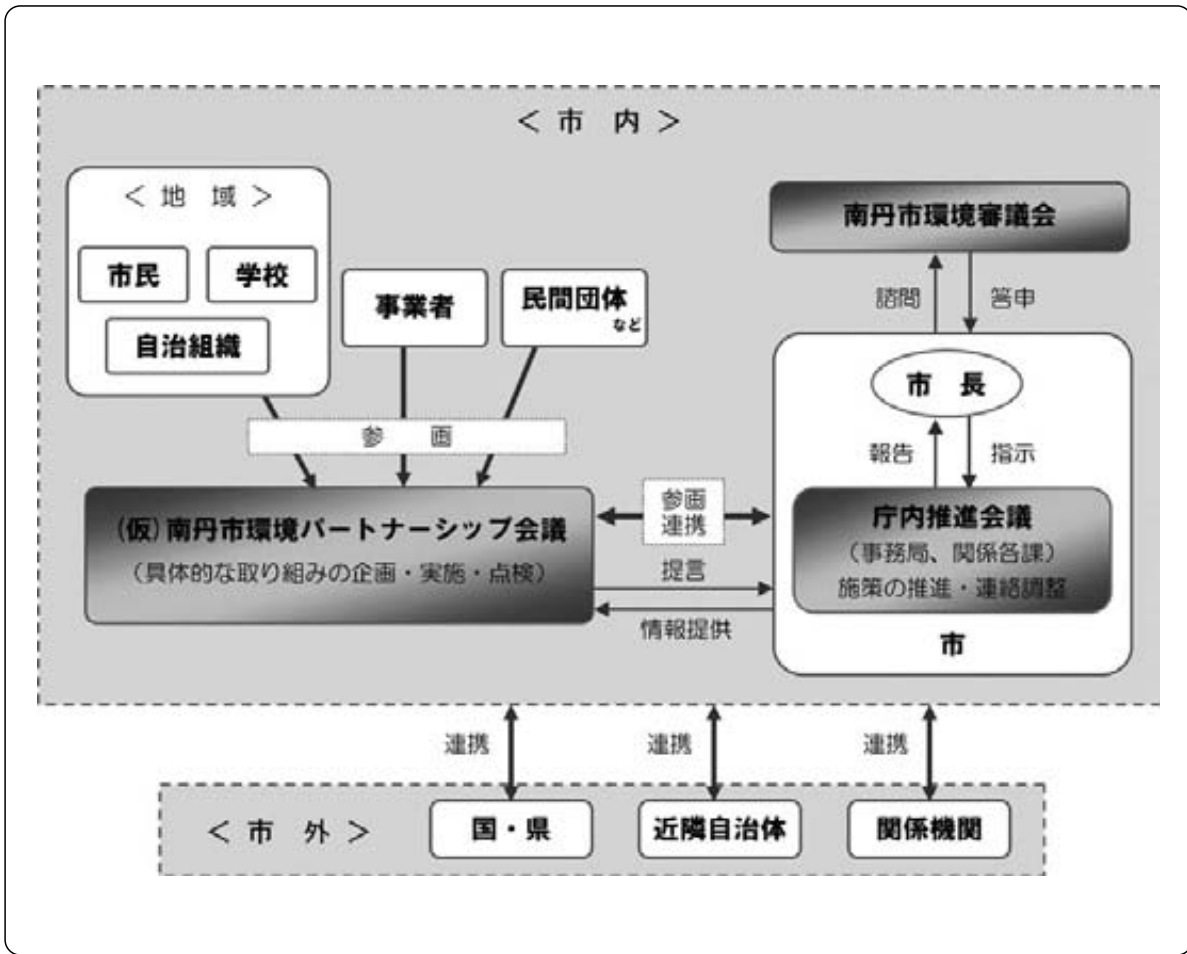
②南丹市環境審議会

年次報告および(仮)南丹市環境パートナーシップ会議の提言について市長から諮問を受け、審議結果を答申します。

③庁内推進会議

市役所内の推進組織であり、関係各課で構成され、各課間の連絡調整、本計画に掲げる環境保全施策や重点プロジェクトの総合的な推進にあたる機関です。

本計画の進捗状況を取りまとめ
て、(仮)南丹市環境パートナーシップ会議、南丹市環境審議会に報告します。



■計画の進捗管理

・進捗管理の基本的な考え方

本計画に示した環境保全施策や重点プロジェクトの実行性を確保するため、進捗管理は重要な位置づけにあります。このため、計画の進捗状況を把握、管理し、これらの状況を広く市民に公表するとともに、効果を客観的に評価し、改善点を見つけて速やかな措置を講じる必要があります。

以上を踏まえ、本計画の進捗は、環境管理システムの基本的なサイクル「計画↓実践↓点検↓見直し(PDCAサイクル)」にのっとった形で管理します。

・進捗状況の把握と公表

計画の実行状況を各計画で設けられている数値目標を用いて把握し、評価します。数値目標のない施策については、計画に基づき実行されている具体的事業の内容などを把握し、評価を行って管理します。調査結果は、庁内推進会議で年次報告書として取りまとめ、市民の皆さんへ公表します。

お問い合わせ先

環境課

TEL (0771) 68-0015

平成22年度予算執行状況

(平成23年3月31日現在)

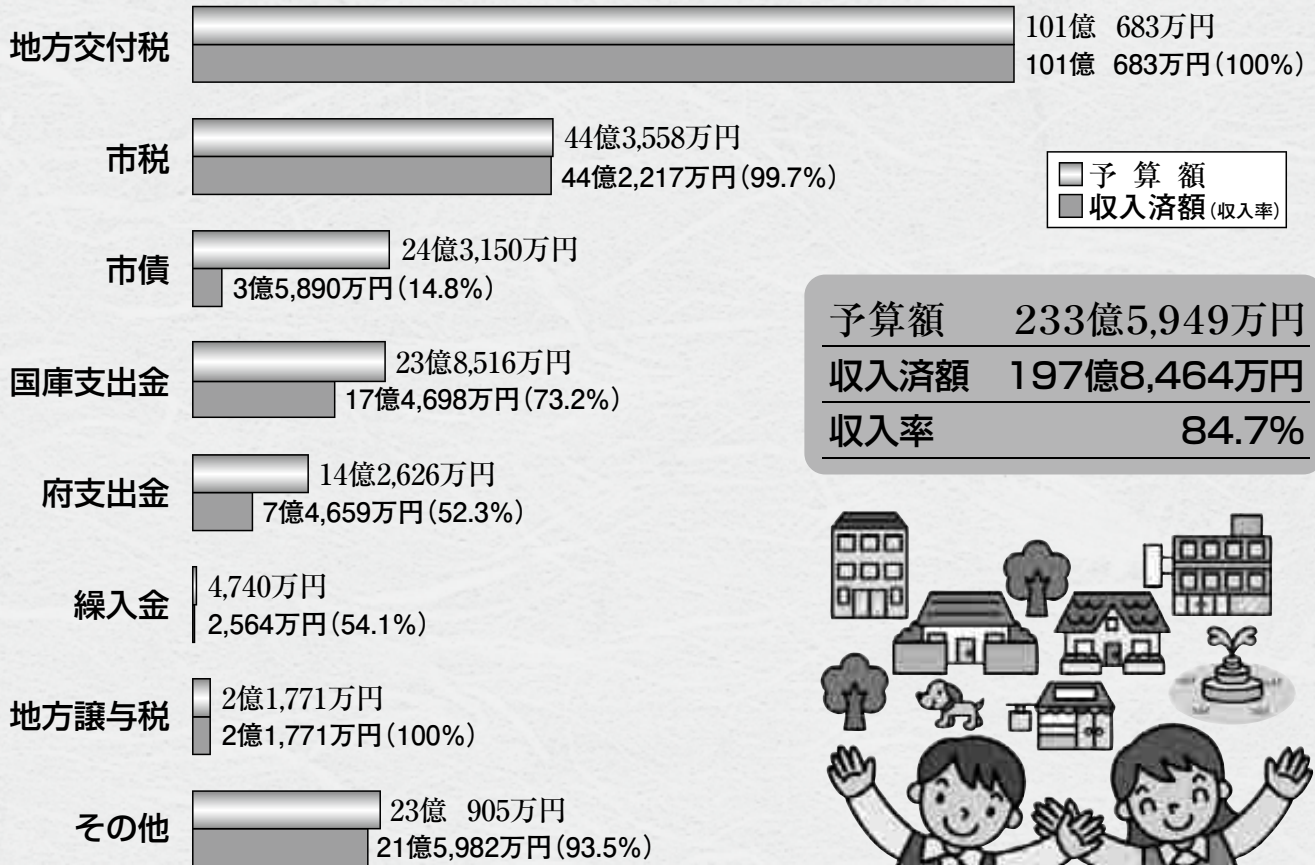
市民の皆さんの税金がどのように使われ、市の財政がどのような状況にあるのか？を知っていただくために年2回財政状況を公表しています。

今回は、平成22年度予算の下半期の執行状況をお知らせします。

※繰越予算額を含む
※単位未満四捨五入

歳入

一般会計



市の借入金(市債)

小・中学校の校舎のように将来まで役立つ施設の建設費などを、次世代の人々にも負担していただくという考えに基づき、借り入れるものです。

借入現在高 600億7,391万円

一般会計	306億6,337万円
特別会計	276億4,692万円
企業会計	17億6,362万円

市民1人当たりの借入金 175万円

※うち地方交付税で補てんされる分(見込み)は約324億円(53.9%)で実質市民1人当たりの借入金は約80万円となります。

市民1人当たりに使われる市のお金

68万円

市民1人当たりが負担する税金(市税)

13万円

1世帯当たりに使われる市のお金

172万円

1世帯当たりが負担する税金(市税)

33万円

◆算出方法◆

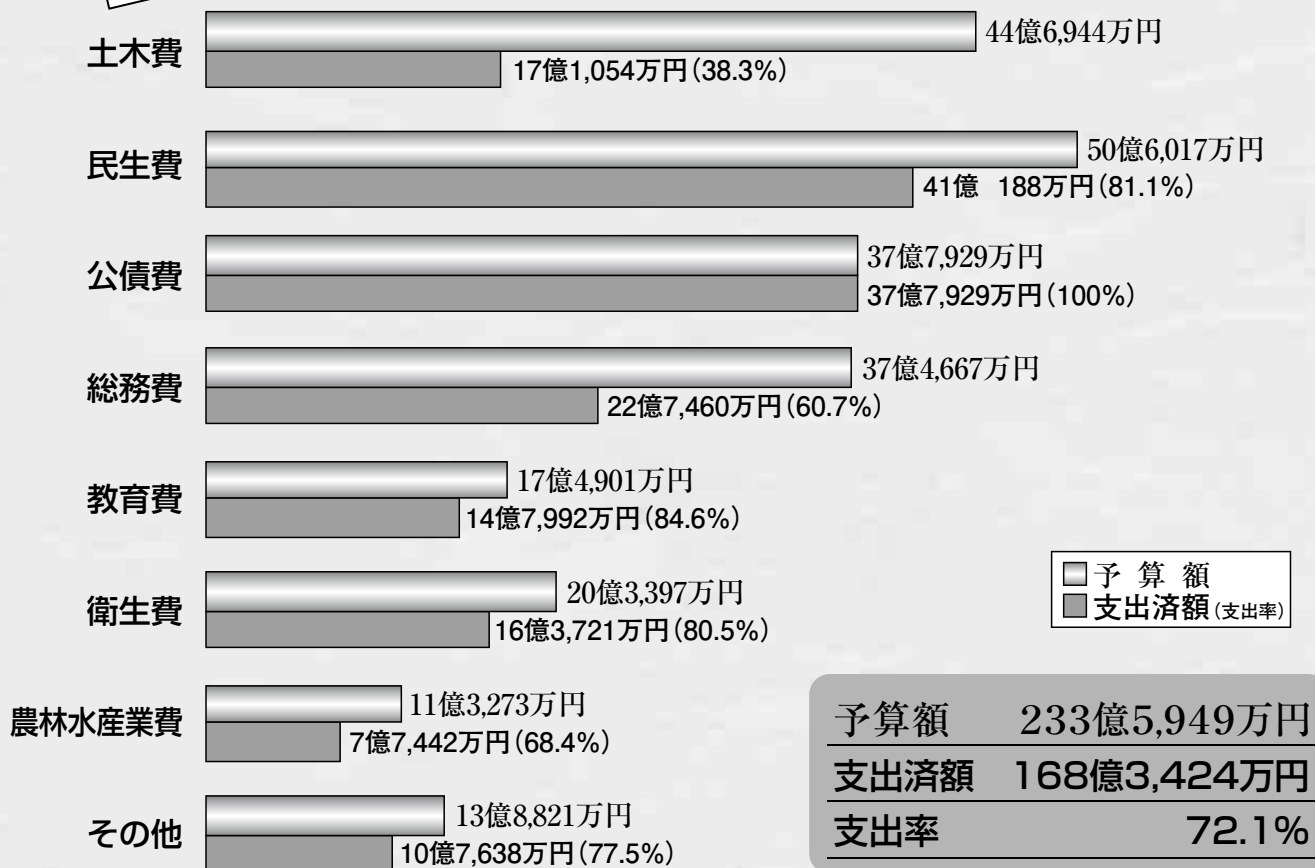
市民(世帯)に使われるお金=総予算÷人口または世帯数
市民(世帯)が負担する税金=市税予算÷人口または世帯数

※平成23年3月31日現在の

人口 34,398人 世帯数 13,571世帯

歳出

一般会計



特別会計

名称	予算額	収入済額	収入率	支出済額	支出率
国民健康保険事業	35億1,049万円	27億5,767万円	78.6%	31億3,829万円	89.4%
老人保健事業	2,299万円	2,283万円	99.3%	2,283万円	99.3%
介護保険事業	31億64万円	24億9,366万円	80.4%	27億8,843万円	89.9%
市営バス運行事業	4,607万円	2,894万円	62.8%	4,274万円	92.8%
簡易水道事業	7億1,890万円	4億2,695万円	59.4%	5億2,198万円	72.6%
下水道事業	28億6,257万円	7億9,395万円	27.7%	25億5,052万円	89.1%
土地取得事業	2億5,507万円	1億9,397万円	76.0%	1億9,291万円	75.6%
後期高齢者医療事業	4億3,326万円	3億8,717万円	89.4%	3億3,052万円	76.3%

企業会計(上水道事業)

区分	収入予算額	収入済額	収入率	支出予算額	支出済額	支出率
収益的	4億4,024万円	4億4,475万円	101.0%	4億1,382万円	3億9,451万円	95.3%
資本的	5,675万円	3,348万円	59.0%	2億3,665万円	1億9,837万円	83.8%

行政 トピックス



**教育のあり方・将来像考え
有識者により議論を進める**

—南丹市教育の在り方懇話会—

南丹市教育委員会は6月2日、今後10年間を見通す中で、本市におけるこれからの教育のあり方や目指す教育像などについて議論を深める「南丹市教育の在り方懇話会」を、有識者5人により設置



▲市の現状を確認し議論すべき事項を確認

慌てず、騒がず、落ち着いて

—地震を想定した避難訓練—

園部第二小学校で6月6日、地震を想定した避難訓練が実施されました。毎年、火災を想定した訓練が実施されていますが、東日本大震災を受け急きよ実施。地震が発生したとの想定で、子どもたちはまず机の下に隠れた後、先生の指示に従って体育館へすばやく移動しました。

訓練後には、実際に南三陸町へ救出活動に行かれた園部消防署の水主さんの体験談を聞き、震災

し、初会合を行いました。

森教育長から「今後、市としてのどのようなビジョンを持てば良いか、ご意見をいただきたい」との投げ掛けに対し、座長の山口満氏（筑波大名誉教授）は「一つ一つの学校、一つ一つのクラス、そして一人一人に対しどのように目を向けるかが大切になってくる。旧4町の特徴を残しながら、市としてのトータルなビジョンを考える必要がある」と述べられました。

本懇話会は、今年度中に3回程度開催し、年度内に提言をいただく予定です。



▲頭を帽子や座布団で守って非難する児童

被害の大きさを知るとともに、自分の命は自分で守ることの大切さを学んでいました。

また、懇話会の議論をベースとして、急激な少子化の進行などを背景とした学校教育環境について検討を行う「学校教育環境整備等検討委員会」と、中学校における給食のあり方を軸に、今日求められている学校給食について検討を行う「中学校給食在り方検討委員会」も同時に設置し、委員会を開催しました。

いずれも有識者13人により構成され、前者は今年度中に5回程度、後者も今年度中に3回程度開催し、年度内に答申をいただく予定をしています。

**園部まごころステーション
皆が集える交流の場として**

—竣工・開所式典—

4月23日、園部まごころステーション「陽だまり」の竣工・開所式典が南丹市国際交流会館で開催されました。式典の後、場所を現地に移し、テープカットと除幕式、施設内の見学などが行われました。当施設は、南丹市内に拠点を置く社会福祉法人「京都太陽の園」が、園部町本町にある築200年の古民家を改装し開設されたものです。今後は、障がいのある方の地域活動支援、就労支援、相談支援の拠点として、また地域住民との協働の場として活動されます。



▲竣工・開所を祝いテープカット

祝・ラポールもろはた竣工 「おもてなしの心」大切に

―短期入所生活介護施設竣工―

昨年11月中旬から社会福祉法人「未生会」が建設されていた短期入所生活介護施設・ラポールもろはたが、八木町諸畑に完成し、竣工式が4月20日に行われました。多くの住民のニーズに応えた一泊から最大2週間程度宿泊可能、個室20部屋・定員20人の小さな施設です。その特徴をうまく生かし、家庭で感じるような安らぎを提供することを目指し、利用される方には「おもてなしの心」を大切に寄り添います。



▲おりの宿を利用される川西文字さん



▲被災地での救助活動の様子を見る学生の皆さん

豊かな知識と教養身に付け 生きがいある生涯を過ごす

―南丹大学開校式・防災講演―

4月28日、八木公民館で生涯生活推進事業の一環として、60歳以上を対象に南丹大学を講演。5月20日には防災をテーマに講演会が行われ、東日本大震災被災地における救援活動の様子に触れました。京都中部広域消防組合園部消防署の田中課長補佐は「震災では絆が唯一得られたもの。自助、共助の心を忘れないでください」と参加者の防災意識を喚起されました。その後、期限が迫る火災警報器の設置の呼び掛けを行いました。

市民の安全・安心守ります

―南丹市防災パトロール―

6月1日に、京都府、消防団、消防署、警察署、市防災関係課など数多くの関係者により防災パトロールを実施。大雪による倒木で一時通行止めとなった神楽坂トンネル付近（佐々江）、落石の恐れがある木住竹ヶ鼻先の民家付近、豪雨・出水時に破堤・浸水の恐れがある本梅川（宍人）を調査。総括会議において小出南丹土木技術次長は「防災意識の喚起と対策の両方が大切」と語られました。また、佐々木市長は関係機関との連携、情報の共有を強調しました。



▲現地パトロールにおいて状況を把握

総務大臣から感謝状



南丹市担当行政相談委員

森 健太郎さん（美山町）

森健太郎さんは、平成7年4月から今年3月末まで、16年の長きに渡り、南丹市（合併前は美山町）担当の行政相談委員として、美山基幹集落センターを中心に、市民から寄せられる多種多様な相談に対し、親身になって受け止め、その解決に尽力してこられました。この度、その功績に対して、総務大臣から感謝状が授与されました。

CATV
7ch

お待たせしました!

テレビ大阪 デジタル 放送スタート!

市民の皆さんから多くのご要望・ご意見をいただいていました「テレビ大阪」の地上デジタル放送が、6月24日から7chでご覧いただけるようになりました。

「テレビ大阪」の地上デジタル放送開始は、これまで南丹市ケーブルテレビ（CATV）にご加入いただき、アナログ放送で「テレビ大阪」を視聴されていた皆さんの声を尊重し、関係機関と協議を進めてきた結果によるものです。

新たにチャンネル設定を

「テレビ大阪」のデジタル放送をご覧いただくためには、地上デジタル放送対応テレビなどが必要です。すでに地上デジタル放送対応テレビなどをお持ちでCATVに入られている方は、再度チャンネル設定をしてください。

その際は、利用中のテレビなどの取扱説明書に従い、「再スキヤン」または「チャンネル設定」を行ってください。

視聴できるチャンネルが増加

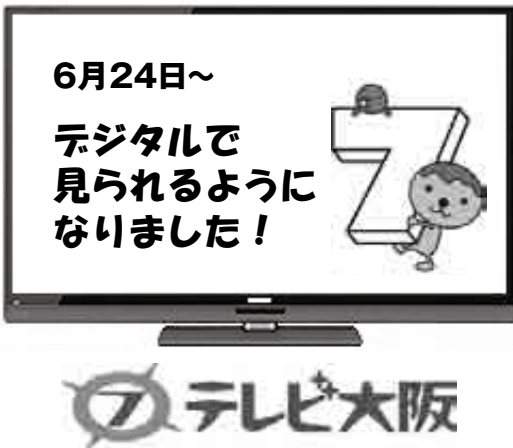
CATVに加入いただいている家庭では、テレビ大阪の放送開始により、合計9チャンネルのテレビ放送をご覧いただけます。また、これまでどおりFMラジオの放送もお楽しみいただけます。

さらに、NHK・BSデジタル放送やデジタルWOWOW、スターチャンネルハイビジョンなど、えりすぐりの放送番組もご覧いただくことが可能です。（別途追加料金が必要です）

便利で安心・充実のサービス

光ファイバーや同軸ケーブルを活用してテレビ放送を配信することを再送信サービスといえます。南丹市内では地形の関係によ

り、アンテナで受信できない家庭が多くありますので、市内にケーブルを張り巡らして、きれいな映像でテレビ放送をご覧いただける



7月24日までに、アナログ放送が終了します。デジタル対応をお急ぎください!

増えて満足 見られて納得 頼りになるCATVです!

■ インターネットで快適環境

CATVに加入いただくと、インターネットサービスも受けることができます（有料）。

インターネットサービスでは、インターネット接続はもちろん、家族で利用いただけるよう電子メールアドレスが5個まで取得可能なほか、メール転送、ウイルス駆除、ホームページ開設など、情報化社会に対応した快適なサービスを提供しています。

■ 加入の初期費用と月額料金は

CATVに加入の場合、初期費用40,000円（加入分担金）と月額基本料金1,500円が必要になります。接続に必要な標準工事費は60,000円程度（FTH地区の場合）です。ただし、工事内容により別途費用が掛かる場合があります。

インターネットサービスを利用の場合、初期費用5,000円（加入分担金）と月額基本料金3,000円が必要になります。標準工事費は30,000円程度です。ケーブルの状況によって、基本料金や工事費用が変わりますので、詳しくは南丹市情報センターへお問い合わせください。

■ BSアナログ放送終了します

地上デジタル放送の完全移行に伴って、南丹市ケーブルテレビにおけるBSアナログ放送も終了します。

引き続きBS視聴を希望される方は、新BSプラン手続きをお願いします。

ケーブルテレビ対応工事が大変込み合うことが予想されます。アナログ放送終了前後に南丹市ケーブルテレビに加入される場合は、加入手続きをお急ぎください。

テレビ放送区域外再送信とは

ようにしています。
また、今年度中には緊急情報や生活情報などをお届けするデータ

放送を始めます。
ますます充実するサービスにご期待ください。

地上波放送は、免許でその放送地域が定められています。
放送免許の対象地域外でケーブル局が受信し、家庭へ電波を送信することを区域外再送信といいます。

まずは区域内での放送免許を持つ民放各局の同意を得て、アナログ放送の再送信を行ってきました。今回のデジタル化に伴い、あらためて、関係民放各局の同意を得る必要があったため、南丹市発足当初から関係民放各局と協議を重ねてきました。
結果、関係民放各局からの同意

と、近畿総合通信局からの許可を得ることができ、6月24日からテレビ大阪のデジタル放送を開始したものです。
なお、今回の再送信については、5年間の期間を設けた経過措置となっておりますが、期間終了後も引き続きご覧いただけるよう、今後も協議を続けていきます。



地上デジタル放送に関しては、南丹市情報センター(0771-63-1777)または南丹市役所地域振興課(0771-68-0019)までお問い合わせください。

国内最大の文化の祭典がやってきます

平成23年10月29日(土)～11月6日(日)

今年の秋は、まさに工芸の祭典

国民文化祭で南丹市は、美術展「工芸」と「工房と里の秋めぐりマップ」の2つの主催事業を実施します。

美術展「工芸」では、全国から募集したさまざまな分野の工芸作品を工芸に携わる著名な方々に審査をいただき表彰します。会場は、南丹市立文化博物館および南丹市国際交流会館を予定しています。現在、全国から工芸作品が寄せられています。

この美術展「工芸」と同時に南丹地域で活躍されている工芸家の皆さんの作品と、南丹市の新たな顔となっている園部の町家のたたずまいとのコラボレーション企画「町家展示」も予定しています。例年の工芸文化祭とは違った雰囲気の中で、工芸家の皆さんの作品をご覧ください、南丹地域の「ものづくり力」を肌で感じていただきたいと思います。

そのほかにも、市民の皆さんが生涯学習の一環として楽しく、丁寧に作り上げられた作品を展示する文化事業共同展示会や、障がいのある方が取り組む感性豊かな「ものづくり」を紹介する工芸作品発表会、子どもたちのすばらしい作品の数々を展示する『「美」と「和」で「輪ぶ」』南丹文化ジョイントプログラムの一環南丹工芸美術教育展もさらに充実した内容で同時開催します。

また、国民文化祭本番の今年も、もう一つ大きな展示会がやってきます。日本の工芸美術界をリードされ、京都を中心に活躍される工芸美術家の皆さんで組織される京都工芸美術作家協会の創立65周年を記念した京都工芸美術作家協会展の開催です。200点を超える工芸美術作品が南丹市立文化博物館に展示されます。ぜひ京都の工芸美術の創造性あふれる「美」の世界をご鑑賞ください。

このように期間中は京都ならではの、南丹市ならではのまさに「工芸の祭典」と呼ぶにふさわしい取り組みを多く予定しています。今年の秋をお楽しみに。

市民でつくる南丹いろいろマップ(仮称)に皆さんの情報をお寄せください

『工房と里の秋めぐりマップ 「南丹いろいろマップ」(仮称)』に皆さんのアイデアや情報をお寄せください。いろいろマップでは、マップを色分けし、色ごとに食べる・見る・遊ぶ・ふれるなどのテーマを設け情報発信を行うものです。現在、各家庭にアイデアや情報の提供をお願いするチラシをお届けしています。南丹市ならではの情報満載「南丹いろいろマップ」の作成に皆さんのご協力をお願いします。

採用させていただいた情報を提供いただいた方には、記念品を用意していますので、どしどしご応募ください。詳しくはチラシをご覧ください。

ちよこつと用語説明コーナー

南丹市立文化博物館・南丹市国際交流会館

南丹市立文化博物館・南丹市国際交流会館は、南丹市役所本庁のすぐ横にあります。JR園部駅からバスを利用すると便利です。公園駐車場も整備されていますのでお車でお越しいただくこともでき、国民文化祭の間は、会場間をつなぐシャトルバスの運行やレンタサイクルの設置なども予定しています。会場周辺では、南丹市ならではの食をテーマにした「食の祭典」なども開催します。特にこの頃は園部公園内の紅葉が真っ赤に色づき見ごろを迎えます。

園部の町家

旧山陰街道と城下町の風景を残す園部の町並みです。JR園部駅から徒歩で約5分の新町エリアから始まる町家の家並みで商店街から国道9号線へと続きます。古いもので18世紀中ごろのものが残る園部の町家は、地域の歴史を知る上でとても貴重。妻入と平入と呼ばれる屋根が混在している点が珍しいといわれています。園部本陣周辺では、季節ごとにまちなか再発見グループによるまちおこしイベントが開催されます。今回はこの町家をお借りして、南丹地域ゆかりの工芸家の皆さんのすばらしい作品を展示します。



『「美」と「和」で「輪ぶ」』南丹文化ジョイントプログラム

平成19年度から始まったジョイントプログラムです。南丹市をはじめとする2市1町、京都府南丹広域振興局および南丹教育局が連携し、南丹地域の文化の振興、さらには、国民文化祭京都開催に向けた気運を高めるための取り組みです。「南丹工芸文化祭」、「南丹工芸美術教育展」、「次世代へつなぐ南丹地域文化フォーラム」の3本柱により構成されています。

京都工芸美術作家協会

京都を中心に活躍する工芸美術作家による会派を超えた作家団体です。昭和21年10月22日に創立され、陶磁、染織、漆、金工、人形、ガラス、截金、木竹、七宝、皮革などの多様な工芸分野で活躍される著名な工芸美術家の皆さんが参画されています。京都のみならず全国各地で展示会を開催し、平成13年には海外展も実施されました。

いよいよこの秋、



国民文化祭

陶芸家 井上 啓さん

国民文化祭

国民文化祭とは、全国各地から多くの「文化」と「人」が集まる『国内最大の文化の祭典』です。

各地で、文化活動に親しんでいる個人や団体が、日ごろの成果や実力を披露するために集います。

各都道府県持ち回りで開催されてきたこの国民文化祭が、いよいよこの秋、京都府で開催されます。

音楽、舞踊、演劇、美術、文芸など、芸術文化から伝統文化、生活文化、さらに特色のある開催地独自の文化まで、盛りだくさんの催しが、開催期間中、次々と繰り広げられます。

南丹市の主催事業はご存じ、美術展「工芸」と「工房と里の秋めぐりマップ」。南丹市の長を生かした南丹市ならではの国民文化祭を皆さんにお届けします。

世界に、伝えたい。
未来へ、残したい。

“こころ”のメッセージ募集中

今回の国民文化祭の集大成として、閉会式で発表する「こころの宣言文」に盛り込むメッセージを募集します。

あなたが大切にしたい日本の「こころ」のメッセージをお寄せください。

詳しくは、市役所備え付けのチラシ、もしくはホームページをご覧ください。

<http://kokubunsai-kyoto2011.jp/>

京都国文祭

検索

国民文化祭100日前イベント開催!

「なんたん ものづくり体験村」

～つくるって、おもしろい!～



平成23年7月23日(土)

午前10時～午後3時

会場:南丹市国際交流会館

小学生から大人まで、どなたでも参加できます。

※ただし、小学3年生までは保護者同伴のコーナーがあります。

※材料費など有料コーナーもあります。

待ちかねた夏休み!わくわくドキドキ…「今年は何をしようかな?」

そんな子どもたちに、お知らせです!

「ものづくりのまち南丹市」を誰もが身近に体感できるよう、いろいろな「ものづくり」を集めた「なんたんものづくり体験村」を開きます。世界に一つだけのオリジナル作品づくりにチャレンジしてみませんか? 「工芸」、「手芸」、「食文化」など、たくさんのメニューを用意しています。

体験村 メニュー

マイ箸・マイ茶碗づくり、ハンカチでマイお箸袋づくり、繻^{ちゆ}でまゆまるづくり、うちわ作り、紙すき、切り絵カードづくり、そば打ち、虫かごづくり(クワガタ虫1匹もらえるよ) ほか

国民文化祭150日前イベントを開催しました

「仁清まつり」を満喫!

平成23年5月22日(日)、会場の大野ふれあい館は子どもから大人まで、多くの来場者でにぎわいました。

会場の大野区は、京焼きの祖といわれる「野々村仁清」生誕の地として知られ、地元では「仁清をたたえる会」を組織して、仁清にまつわるさまざまな取り組みを進めています。当日は、会の皆さんの熱心な準備により、仁清にまつわるさまざまな展示コーナーなどが企画され、訪れた人々を魅了していました。



▲展示会場。仁和寺所蔵の仁清の作品「黒褐釉肩衝茶入」も展示されました



▲「陶芸ふえすた」コーナーでは、お気に入りの器を求めて作家と交流

▶ものづくり体験教室もにぎわいました



みんなで描こう

協働のキャンバス



みんなでつくる

まちづくりの南丹ルール

みんなで考える

⑤

皆さんこんにちは。地域振興課 協働推進係です。組織再編以降は、企画推進課に代わって私たちが市民協働・市民参加に関するさまざまな情報を市民の皆さんにお届けします。

今回は平成22年度の南丹市市民提案型まちづくり活動支援交付金の報告と平成23年度の提案状況についてお知らせします。

平成22年度南丹市市民提案型まちづくり活動支援交付金の振り返り

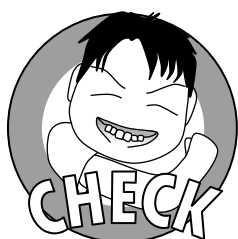
提案いただいた12事業の実施とその効果

平成22年4月1日に施行された南丹市市民参加と協働の推進に関する条例に基づき創設された南丹市市民提案型まちづくり活動支援交付金については、初めての取り組みにも関わらず多くの提案をいただき、平成22年度には12事業を実施いただきました。

どの事業も地域の課題をしっかりとらえ、その解消につながる事業を提案いただき、地域住民の皆さんが効果的に事業を推進されました。各団体には活動報告書を提出いただき、その活動の効果を検証いただくとともに、さらに今後の活動における課題を掘り下げていただきました。また、これまでの実績や活動報告書をもとに行政の視点で事業の評価を行いました。

■詳しくは南丹市ホームページ内「市民のページ」をご覧ください。

<http://www.city.nantan.kyoto.jp/simin-kyoudou.html>



平成23年度南丹市市民提案型まちづくり活動支援交付金事業の提案状況

提案いただいた平成23年度前期20事業

平成23年4月1日から5月6日までの募集期間において、市民の皆さんから20事業にわたる提案をいただきました。前回の課題設定ではなかった「子育て支援」、「景観」に関する課題について、多くの団体から提案をいただき、その意識の高さが表れています。前年度からの継続事業は5事業となっており、残る15事業は新規の提案となっています。

事業名	団体名	事業名	団体名
心かいふくProject	アンダンテの会	上司区桜いっぱいプロジェクト	上司区むらおこし保存会
心と体イキイキProject	ヨガサークルEBONOS	景観を活かしたまちづくり	下平屋区
絵をかく会	絵を描く会	南丹・美山さくら街道プロジェクト	長谷区
地域子育てでモデル事業平屋地域での子育て支援活動	平屋ふれあいサポーター	「南丹・美山魅力 地域の“今”を活用する景観づくり」	明日の長谷を考える会
ホースセラピー（乗馬療法）	NPO 法人発達障害を考える会ぶどうの木	安心町づくり防災マップ	本町五丁目区
地域で考える食の安全安心活動	城山会	先進集落作りモデル事業～美しい郷作りは、元気な高齢者と～※	長尾区
公園の緑地保全の維持管理活動	横田環境保全（公園）委員会	食の安心・安全活動※	北村かやぶきの里保存会
子供が安心して遊べる明るい公園を住民自ら造る事業	上本町区	なんたん自然体験活動ニュースレター※	森林・環境ネットワーク
園部本陣活性化連携事業	陽だまりコンサート実行委員会	ふるさとの道クリーン運動※	美山女性の集い連絡会
横町まつり	横町まつり実行委員会	宮町区民の集いの場－青空市場－※	宮町華倶楽部

※は継続事業

※5月31日に開催の事業審査会で、全事業について審査を行い、全事業の実施が決定しました。

市民参加と協働の推進に関することは 地域振興課 TEL0771-68-0019 までお気軽にどうぞ

いきいき南丹

お元気ですか？
保健師です。

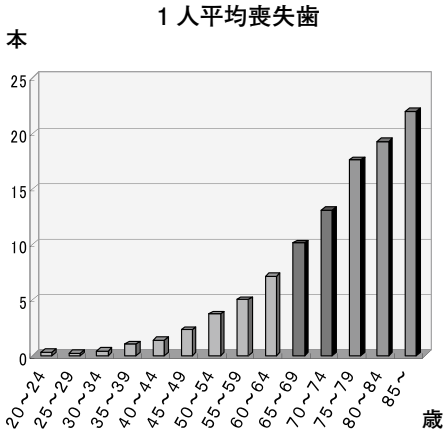


歯周病を予防しましょう！

歯周病予防は自分の歯を残すことにつながります！

「生涯、自分の歯で食事をした
い」というのは、誰も願いた
と思います。しかし、左のグラフの
通り、年齢が高くなるほど失う歯
の本数も増えているのが現状です。
自分の歯を残すことは、食生活
を豊かにするだけでなく、寝たき
りや認知症の予防にも大切です。

歯を失う原因はいくつかありま
すが、30歳代以上の場合、最大の
原因は『歯周病』です。



■歯周病とは？

歯周病とは、歯の表面につく歯垢（プラーク）の中にすみついて
いる歯周病菌によって引き起こさ
れる『歯と歯茎のまわりの病気』
です。また、不健康な生活習慣に
よっても発症します。

■歯周病につながる生活習慣

〈喫煙〉歯周病菌とたたかう白血球の機能が低下し、血管が収縮します。歯周病にかかりやすく、進行を早めます。
〈ストレス〉ストレスから歯ぎしりや食いしばることが増えて、噛みあわせが悪くなりあごに負担をかけます。
〈バランスの悪い食生活〉体の免疫力が低下しますので、歯周病にかかりやすくなり、進行を早めます。

■歯周病の症状

- ・歯みがきなどで、歯肉（歯茎）から出血する
- ・口臭がする
- ・口の中がネバネバする
- ・歯肉が腫れている
- ・歯肉が赤色、紫色になる
- ・歯肉からうみが出る
- ・歯がグラグラする
- ・歯肉が下って歯が長く見えるなどです。

■歯肉炎↓歯周炎と進行

最初は、自覚症状はありませんが、少しずつ、しかし確実に進行していきます。最初は『歯肉炎』ですが、進行していくと、『歯周炎』になります。

■歯肉炎

歯周病の初期段階では、歯肉（歯茎）が赤く腫れて炎症をおこしたり、歯みがきによって出血したりします。外見上は健康な歯茎と変わりありません。

この段階では、毎日の正しい歯みがきだけで治ることもありえます。

■歯周炎

歯茎の腫れ、出血だけでなく、歯周病菌によって、歯周組織のうち『セメント質、歯槽骨』などが

溶かされて、歯がグラグラしたり、歯茎から血やうみが出ることもあります。この状態になると、歯科医院の受診が必要です。

■歯周病の予防

- ①規則正しい生活をしましょう
- ②間食は時間を決めましょう
- ③ストレスをためないようにしましょう
- ④たばこは吸わないようにしましょう
- ⑤お酒の飲みすぎに注意しましょう
- ⑥週に1回は口の中を観察しましょう
- ⑦歯科衛生士に歯みがき方法の指導を受け、正しい歯みがき方を習得しましょう
- ⑧定期的に歯科健診を受けましょう

■歯周病予防健診を実施します

南丹市では、40歳・50歳・60歳・70歳の節目の方を対象に歯周病予防健診を実施します。対象になる方には受診票などを案内していますので、この機会にぜひ健診を受けましょう。



「友達がみんなが待っている 学校へ」

子どもたちにとって、

「学校」は特別な場所。学校へ行けば、友達に会える。先生に会える。みんなに会える。

タイトルにした「友達が みんなが待っている 学校へ」は、今年のフレズソング「学校へ行こう」の歌詞の中の言葉です。新庄小学校では、学期ごとに2回「フレズデー集会」という全校集会を行っています。フレズデー集会では、毎回さまざまな活動を取り入れながら、日常生活を見つめ直したり、自尊心を高める活動を行ったり、学校のスローガンの一つである「やさしく」に向けての目当てを作ったりなど、そのテーマソングとなるのがフレズソングです。委員会活動での話し合いの中で、「『友達が みんなが待っている 学校へ行こう』という歌詞がいいなと思う。みんながこんな気持ちになったらうれしい」「歌詞の『笑顔で』や『みんなの笑い声』という歌詞が目指す学校の姿にぴったり合う」という思いからこの歌が選ばれました。

5

月11日、第1回フレズデー集会を行いました。新しく仲間になった1年生を含むファミリー班（異なる年齢班）の友達ともっと仲良くなるために「電車ごっこリレー」という活動をしました。

真ん中が切り抜かれた新聞紙に2人入り、新聞紙が破れないように、リレーをします。この活動から、子どもたちは友達の様子を見ながら息を合わせることの難しさを知り、同時に、息を合わせることができた時のうれしき、難しかったことに力を合わせてクリアできた時の達成感を味わっていました。

毎

日通う学校。時には、うまくいかないこと、嫌なこと、いろいろあると思いますが、自分を



受け入れてくれる友達が待っている。一緒にがんばろうとしてくれる友達がいます。そんな学校を43人の児童と教職員全員で作っています。

（新庄小学校 人権教育主任 田中 晶子）

環・境・市・民
～感激！エコ発見～

エコちゃん
—第20回—



これらの取り組みを支える村上さんの姿がありました。



今回のエコジスト

村上定一さん
(園部町小山西町)

村上さんはごみを持ち込む方々や通りがかる子どもたちにいつも元気に声をかけます。小山西町の衛生委員補佐となつて5年目。資源ごみの回収日には欠かさず、朝6時からステーションに立ち、その都度声を掛けて、世帯数780という大きな地域でも細かい分別が浸透しています。「最初は嫌がられたけど、今はみんな友達油の回収も早くみんなに知ってもらいたいです。このステーションはごみを出すだけでなく、気軽に話をして、楽しめる場にしたいですね」。

ほかにも村上さんは地域のお年寄りに声を掛け、公園の美化活動をして交流の場を作っておられます。「家にいるよりに外に出てきてもらって、みんなに元気になってほしいです。健康が一番！」。

(環境課)



視聴覚資料で図書館がさらに充実!

図書館の資料は、市民の皆さんの大切な財産です。便利な視聴覚資料もルールを守って、気持ちよくご利用ください。

- ① 貸出は利用カード1枚につき1冊です。返却は必ずカウンターでお願いします。もちろん市内のどの図書館・図書室でも貸出・返却していただけます。
- ② 資料の破損などがあつた場合、弁償していただくことがあります。
- ③ ルールを守って楽しんで見てください。

DVD紹介



『ダイブ』
作:森 絵都
少年たちが恋や友情や夢に葛藤しながら、飛び込み競技(ダイブ)に打ち込む姿を描いた青春映画。



『いけちゃんどぼく』
作:西原理恵子
子どもたちの見えない世界に、思わず涙してしまふ。

暮らしと

ホッと

—第14回—
消費生活情報

ネットオークショントラブル対策

ネットオークションは、欲しい物が手軽に安く手に入るなど大変便利なシステムですが、個人との取引も多く、相手が信用できるか、取引してよいかなど自己責任で判断しなければなりません。詐欺や取引トラブルが多いのが現実です。

よくあるトラブル事例

- ① 商品を落札し現金を振り込んだのに商品が送られてこない。
- ② 落札した物と違う物が送られてきた。
- ③ 説明にはない傷や故障している物が送られてきた。

「落札・振込前のチェックポイント」

- ① 出品者の「評価」や「取引履歴」を確認しましょう。
- ② 不明な点や疑問な点があれば出品者に質問をしましょう。それでも不安が残る場合は入札を避けようが賢明です。
- ③ 即決品や商品画像がない、もしくはメーカー見本写真の場合には慎重に。
- ④ 入金前に、出品者の氏名や住所・固定電話番号・口座番号・メールアドレス(フリーメールでないもの)を聞き、実在するか確認しましょう。
- ⑤ 振込先が「トラブル口座リスト」に掲載されていないか確認しましょう。

「詐欺にあった場合の対処」

- ◆ 慎重にしても100%詐欺を防ぐのは難しいものです。もしも詐欺にあつてしまったら、次の行動をとりましょう。
 - ◆ とにかく連絡を取り返金を迫る。
 - ◆ オークションサイトに通報する。
 - ◆ 内容証明郵便を送る。
 - ◆ 警察に届け出る。
- あきらめずに交渉や届出することが被害回復や次の被害防止に役立ちます。

相談窓口

■ 商工観光課
Tel 0771 (68) 0050
■ 消費者ホットライン
Tel 0570 (064) 370
※最寄りの相談窓口につながります。

(商工観光課)



自分たちの集落は、自分たちで守る ～北村火の用心グループ～

ここは美山かやぶきの里。5月22日一斉放水が行われる日。たくさんのお客、カメラマンなどにぎわうこの日も、北村火の用心グループは活動します。

北村火の用心グループは、もともとシルバーボランティアとして、高齢者を中心に活動していました。しかし、平成12年に発生した資料館の火災をきっかけに、活動は集落全体に広がり、今ではかやぶきの里の住民全体が参加して活動しています。毎日午後8時から9時の時間帯において拡声器、拍子木を打ちながら火の用心、防犯を呼び掛けているこの団体にとって、この日は「放水銃の点検」といった少し変わったもの。里を守る放



▲一斉放水の様子

かやぶきの里～イベント～

～収穫祭～

- 秋の稲刈り体験(御神米) 3kgプレゼント付き
- 日時 9月23日(金・祝)
- 参加費 5,000円(送迎つき)
- 内容 稲刈り・稲木干し体験
- 申込期限 9月16日(金)

～かやぶきの里一斉放水～

北かやぶきの里において防火施設点検のために一斉放水を実施。放水銃が水しぶきをあげて茅葺民家目掛けて放水し、かやぶきの里は一面水のカーテンに包まれます。

- 日程 11月23日(水・祝)
- 内容 かやぶき放水銃訓練
- ※開始時間は未定です。

◇申込・問合せ先
美山町自然文化村 (0771) 77-0014
かやぶきの里 (0771) 77-0660

北村火の用心グループ
代表：中野 忠樹さん
TEL：0771-77-0550



▲放水銃の点検を行う中野さん

水銃も放水開始時に民家のガラスを割る恐れがあります。発射角度の調節など動作の点検を行う必要

があるそうです。大きな火災を経験してきたこの地域は、非常に防災意識が高く、万が一の備えとしてバケツリレーの訓練をしたり、集落内で花火、たき木を禁止する決まりを作ったりと、呼び掛け以外にもさまざまな活動をされています。「地域の景観を守ることは、暮らしを守ることに同じ。火災はそのすべてを壊すもの。機械だけに頼らず、住民全体が団結し、地域を自分たちの手で守ることが大切」と代表の中野さん。

北村で暮らす皆さんは、地元消防団、美山かやぶきの里保存会など二重、三重に地域活動に携わる方がほとんど。地域を思う心には、目を見張るものがありました。

日吉町生涯学習センターで、日吉福祉大学・紅が丘大学の開講式を開催。記念講演では、歌手・民間親善大使として活躍されている大西由香里氏が、「笑顔が長生きの秘訣」と題し、自身の体験を交え語られ、会場は笑いが絶えませんでした。「歌う顔は、笑う顔と同じ」と強調され、「赤とんぼ」、「ふるさと」などの童謡を学生の皆さんとともに歌われました。「ふるさとを歌ったときは、昔の情景を思い出し感無量だった」と語った学生の姿が印象的でした。



▲童心にかえり熱唱する、学生の皆さん

「日々笑顔と感動を忘れずに長生き」

5/25 日吉福祉大学・紅が丘大学開講式・記念講演

みんなのひろば

まちの話題を紹介します



▲サクラ陶房で陶芸に初挑戦！頑張れお母さん！

「地域を元気にしたい！お客様に喜んでほしい！そして自分たちも楽しみたい！」の思いから始まった『歌聴風月酒造ライブ』が例年通り、八木酒造で開催。同時開催の横町まつりでは、電動・手びねりろくろ体験でオリジナルのぐいのみが作れるサクラ陶房、クワガタ相撲やカニ釣り、ストーンペインティング、きき酒などが催され、商店街を行き交う参加者でにぎわいました。夕方からは、八木酒造で造られた「大江山」を味わい、ほろ酔い気分の中、杉真理さん・村田和人さんのライブが行われ、参加者は、ほんのりお酒の香りが漂う少し変わったライブ会場で楽しいひと時を過ごしました。



▲もの静かな酒蔵がライブ会場に大変身！

「地元の場所、ものでまちを活性化」

6/4 横町まつり・歌聴風月2011酒蔵ライブ

「なかなか進めない田植えって大変だ」

5/14 Takara 田んぼの学校



▲はじめて田植えの体験をする子どもたち

宝酒造（本社＝京都市）が、米作りの体験や自然観察を通じて自然環境の大切さや生物の多様性を学んでもらおうと、西日本でははじめてとなる「田んぼの学校」を園部町仁江で開校。527組1,965人の中から抽選で選ばれた19家族64人が参加しました。仁江里山を守る会の谷代表から苗の植え方について説明を受けた後、実際に田んぼに入って田植えの体験をしました。はだしではなく靴下を履いたままでの体験でしたが、参加者はそれぞれ田んぼの土の感触を確かめていました。



▲滑りやすいコーナーを走り抜けていく自転車

毎年恒例となっている美山サイクルロードが、美山支所前をスタート・ゴールとする1周約10Kmのコースで開催されました。あいにく台風2号の接近により、時折風雨が強まる状況下でのレースとなりましたが、小学生からシニアまで約650人が激闘を繰り広げました。また、会場では、地域の方々による暖かい食べ物の提供や、明治国際医療大学のボランティアによるマッサージなど、地域あげでの支援が行われました。

〔5/29 2011美山サイクルロード〕

「降雨と水煙の中を疾走する自転車」

「6万人利用・竣工の二重記念」

るり溪少年自然の家6万人目の利用者となった西本梅小学校の児童は、新しく竣工した屋外炊飯場の使いはじめ記念式典で、明かりの初点灯を行いました。児童はるり溪賛歌を元気に歌い、校長先生は「貴重な体験ができる施設で、集団で行動することの大切さ、自立心を身につけてください」とあいさつされました。その後、生活体験の一環として完成した屋外炊飯場で、在校生がカレーを作って新入生をもてなしました。

〔4/19 6万人利用・屋外炊飯場竣工記念式典〕



▲竣工した屋外炊飯場の初点灯を行う谷利優くん

「市長杯を目指して青空の下でプレー」

園部公園スポーツ広場を主会場に、今年で6回目となる少年野球大会が開催されました。初夏を感じさせる日差しの中で市内の8クラブ14チームが熱戦を繰り広げました。今年度初の公式戦ですが、子どもたちは日ごろの練習の成果を十分発揮していました。
成績：【学童A】優勝・小向山少年野球倶楽部、準優勝・園部ドリームス
【学童B】優勝・八木アトムズ、準優勝・園部キッズ【学童C】優勝・小向山少年野球倶楽部、準優勝・胡麻ヤンチャーズ



▲バットを振りぬぎヒットを狙う

〔4/17~5/3 南丹市長杯争奪少年野球大会〕



▲親子で協力しながら一生懸命間伐を行う参加者

地域に貢献しながら、人の輪を広げることがを目的に八木町玉ノ井で島津製作所主催、八木町観光協会などの協力の下、広葉樹の間伐、森林の現地調査などの森づくり活動が行われました。医療機械を始めとする計測器のメーカーの島津製作所は、環境汚染などの指標に関心を持ち、環境に関わるさまざまな活動を行っています。「自然と共に豊かに生きることが大切」と社長は語られ、参加者で手分けして作業を行いました。間伐で切った木は、炭や木材として再利用されます。

「人と地球の健康を願っています」

〔5/21 第7回島津製作所の森づくり活動〕

なんたんミュージアム -27-

―南丹市立大野小学校―

※担任の先生、担当教科の先生の講評を掲載しています。

「うまにのったよ」

下野 春穂さん (2年)



▶クレパスやコンテ、絵の具を重ねて、うれしかった気持ちののびのびと表現できました。

「森のレストラン」

筒井 柊さん (5年)



▶虫が集まっている様子をテーマに選び、イメージを大切に、ステンシル版画をしっかりと仕上げました。

「麦」

小寺 勝生さん (4年)



四年 小寺 勝生

▶二つ並んだ左払いの方向の違いを意識しながら書くことができました。

「愛鳥週間ポスター」

高畑 拓也さん (6年)



▶幻想的な森と泉の中にカワセミの姿をていねいに描きました。

編集後記

夏も本番を迎え厳しい暑さが続いています。皆さんいかがお過ごしでしょうか。

取材活動を通して「地域のために頑張っておられる方がこんなになくさんおられるんだ」と改めて感じ、感動の連続。その感動がそのまま伝わる紙面にしたいと考えています。まだまだ新米の私ですが精一杯頑張ります！

(F)



市の花 さくら 市の木 ふな 市の鳥 オオルリ
森・里・街がきらめくふるさと 南丹市 なんたんし



●総人口：34,428人(+3)
(男：16,542人・女：17,886人)
(+20) (-17)
●世帯数：13,656世帯(+3)
(平成23年6月1日現在)
()内は前月比



●園部町

わが家のアイドル

吉田 さくらちゃん (9歳・中央)

吉田 はやと 颯翔くん (6歳・左)

吉田 きらり 姫星ちゃん (4歳・右)

いつも仲良く、元気に大きくなってね。(パパ・ママより)

写真掲載の応募をお待ちしています。(応募数によっては順番待ちになることがあります) 詳しくは企画調整課秘書広報係まで

広報 **なんたん**

編集・発行：南丹市役所 企画政策部企画調整課
〒622-8651 京都府南丹市園部町小桜町47

TEL:0771-68-0008 FAX:0771-63-0653
URL:http://www.city.nantan.kyoto.jp
e-mail:kikaku@city.nantan.kyoto.jp



本紙は環境への配慮から、水なし印刷、ベジタブルインク(植物油)を採用しています。